



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	サブカルサブリ第29回 : アニメ聖地に大切なこと : 二つの熱い想いゆえの聖地
Author(s)	山村, 高淑
Relation	埼玉新聞2014年10月11日版、特集「サイタマニア」、p.2
Citation	埼玉新聞
Issue Date	2014-10-11
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/57110
Type	article
File Information	20141011Saitamania subcul suppl No.29.pdf



山村高淑教授の

サブカルサプリ

アニメや漫画の舞台地が多いサブカル王国・埼玉。

その魅力を「アニメツーリズム」の専門家、山村高淑氏が紹介する。



ここ数年のアニメ聖地に関する議論で気になることがあります。何か「大切なこと」がおいでけりになっていないだろうかという事です。確かに「アニメ聖地ビジネス」の経済効果は、産業界や自治体にとって極めて重要な問題ですし、コンテンツツーリズム研究の進展も学界にとっては非常に大切なことです。

でも、そうした重要な動きも、ベースとして「大切なこと」への認識を持ち続けていないと、結局うまくいかないのではないかと思っています。

実は、そんな「大切なこと」を埼玉は教えてくれます。久喜市鷲宮の土師祭や秩父市の龍勢祭しかり。アニメ祭しかりです。今回は二つの「大切なこと」＝「熱い想い」について触れたいと思います。

ファンの想いあつてこそ

まず、ファン個々人の作品に対する熱い想いがあつてこそその聖地だという点です。

ある作品の聖地を巡礼することとは、すなわち、自らが大切に思う作品に対し、オマージュ(敬意)を捧げる行為にほかなりません。

アニメ聖地に大切なこと 二つの熱い想いゆえの聖地

ですから当然、ファンの数、想いの数だけ聖地があります。そして、だからこそ聖地巡礼は人それぞれ歩き方があるのです。誰かに強要されたりするものではないはず。ファンにとって好きな作品は、誰が何と言おうと好きな作品。関連する聖地はかけがえのない場所なのです。ブームや有識者の言説、行政のお墨付きに左右されるようなものではないのです。

ですから、当たり前のことなのですが、私たちは自分と趣味や価値観が異なっても、お互いに敬意を払い合う寛容性が必要ですし、そのためには、やはり自分自身の好みや価値観を大切にしなければなりません。この意味においてあって聖地を定義すれば、「誰が何と言おうと、大切なものを大切にだと言え場所、好きなものを好きだと言え場所、それが許される場所」とでも言えるでしょう。アニメ聖地や聖地巡礼を考えると、まずこのことは忘れてはいけなと思うのです。

スタッフら集大成の作品

もう一点、忘れてはならないと思うのは、原作者や製作スタッフ

の熱い想いがあつてこそ、その集大成としての作品だという点です。原作の先生や、製作スタッフの皆さん、監修の皆さん、そして声優さん、音楽担当の皆さん、など、それぞれの想いの結晶が一つの作品になっているわけです。

どれ一つ欠けても作品は生まれず、聖地も生まれません。声優さんのトークショーやアニソンのイベントが楽しいのも、そうした「総合的な結晶としての作品」の一部を楽しむことができるからにほかなりません。

製作関係者の想いという点では、作品の厚みも重要なポイントです。つまり、これまでの文学やマンガ、アニメの歴史があつて、様々な作品の蓄積があるからこそ、脚本や表現が洗練されるわけですし、製作陣のオマージュ表現を見出す楽しみも増えるわけです。近年アニメ聖地が増えた背景の一つに、こうした蓄積の上にあるアニメ作品の質の向上、その結果としての良作の増加という点があることも見逃せません。

埼玉新聞、アニメ祭に期待

経済効果や入込客数といった数

字のみがクローズアップされ、そうした数字によってタイアップの成否が報道される傾向にある。今、こうした「大切なこと」はほとんど論じられることがありません。しかし、繰り返すことになりますが、このあたりの、いわば「気持ち」の問題を、ファンや作品を受け入れようとしている地域をはじめ関係者は忘れてはいけなと思ふのです。その意味で、いまだアニメファンに対する偏見が残るジャーナリズム業界にあつて、埼玉新聞(とりわけ「サイタマニア」紙)の愛のある記事が、こうした本質を全国に向け発信してきた功績は非常に大きいと思います。今年埼玉新聞は創刊70周年ですが(おめでとうございませす!)、今後もそうした記事を伝え続けて欲しいと思います。

加えて、アニメ祭にはぜひそんな「大切なこと」が体感できる場所になつてもらえればと思います(そのポテンシャルは十分にあると思ひます)。全国から様々な聖地が集まり、メディア関係企画も充実した今回のアニメ祭。あなただけの素敵な作品・聖地との良き出会いがありますように!